

全日本科学機器展 in 東京 2008 学会連動セミナー

第 1 回 化学防災指針セミナー

—混合危険の事故事例と対策—

主催 日本化学会 環境・安全推進委員会

会 期 平成 20 年 11 月 26 日 (水) 13 時 00 分～16 時 00 分

会 場 東京ビッグサイト会議棟 (東京都江東区有明 3-21-1、「全科展」会場内)

[交通] ゆりかもめ 国際展示場正門駅 下車徒歩／りんかい線 国際展示場駅 下車徒歩

募集人員 50 名

趣 旨 大地震に伴う火災原因の調査によれば、数種類の試薬がビンの破損により混ざり、触れあう、「実験室における薬品類の混触による発火」が無視できない割合で発生した。混触発火のみならず、物質の混合による様々な発火・爆発危険性にも厳重なる注意が必要である。これら物質の混合による発火・爆発危険性の発現現象を総称して「混合危険」と呼ぶ。本セミナーでは、輸送時における混載や廃棄物・プラントなど、さまざまな状況下での事故事例分析を通して、事故の未然防止とその対策を考える。

13:00-13:45 講演 1 混合危険とは—消防法と発火・爆発

(消防大学校 消防研究センター 危険性物質研究室) 古積 博

13:45-14:30 講演 2 事故事例に見る混合危険の毒性と応急処置

(東京大学環境安全研究センター) 刈間 理介

14:30-15:15 講演 3 混合危険の評価方法と未然防止

(東京大学新領域創成科学研究科) 阿久津好明

15:15-16:00 講演 4 混載・廃棄物・プラントにおけるヒヤリハットと事故事例の分析

(災害情報センター) 若倉 正英

参加費 5,000円

参加申込方法 「11/26 第 1 回化学防災指針セミナー出席」と標記し、氏名・所属・連絡先住所・電話番号・FAX 番号・e-mail・会員/非会員の別を明記のうえ、申込先あて e-mail (matsubara@chemistry.or.jp) にてお申込みください。

申込先 日本化学会企画部 松原 FAX03-3292-6318 E-mail:matsubara@chemistry.or.jp

問合せ 日本化学会企画部 保倉 TEL03-3292-6163 E-mail:hokura@chemistry.or.jp